



①



②



③



④



⑤

- ①開会セレモニーでは、中村会長や中野町長のあいさつをしっかり聞いた。
- ②読み聞かせ支援隊による「たのしいよみきかせ」では、絵本の名作「モチモチの木」が読まれ、子どもたちが先生の話術に引き込まれた。
- ③ジュニアリーダーによる「朝ごはんクイズ大会」。全問正解した子どもも多数いた。
- ④今年「わたあめ」で初出店したあさひ町子ども会。子どもたちには大好評。
- ⑤亀田子ども会では、お父さんたちが朝から「たこ焼き」に奮闘。一番人気だった。
- ⑥紙飛行機づくり＆飛ばし大会では、不要になった紙で、不思議な形の筒型紙飛行機を作り、距離を競い合った。
- ⑦大ピンゴ大会の様。特賞になった子どもには、鶴田の美味しいお米10キロが。



「朝ごはん健康」をテーマに 第15回鶴田町子どもの祭典

ジュニアリーダーのゲームを楽しむ子どもたち

子どもたち200人がつるたの秋を楽しんだ

十一月三日(月)文化の日に、鶴田町国際交流会館で、鶴田町子ども会育成連絡協議会(中村琢司会長)主催「第十五回鶴田町子どもの祭典」が開催され、管内の子どもたち二百人が、さまざまなイベントを楽しみました。

今回は、「朝ごはん健康」をテーマに開催され、開会セレモニーで中野町長から、「朝ごはん食べてきましたか」の呼び掛けに、子どもたちは大きな声で「ハイ」と返事をし、楽しいイベントがスタートしました。

この祭典では、町のジュニアリーダーズクラブ「HIZURU」の中高生リーダーたちが、企画から準備、当日の進行まで、全てを自らの手で行い、また、いたるところで子どもたちの指導にもあたっていました。

開会セレモニーが終わると、読み聞かせ支援隊による「たのしいよみきかせ」が始まり、その後は、ジュニアリーダーたちによる「ゲーム大会」、「朝ごはんクイズ大会」が行われ、お昼には「おたのしみタイム」と称して、各地区の子ども会が催す「たのしいお店」が開店。今回は、五地区(亀田・新田子・寺町・公園通り・あさひ町)の子ども会が参加して、知恵を出し合って作ったお店は、子どもたちに大好評でした。

午後からは、不要な紙を利用したエコクラフト「筒型紙飛行機づくり」と、その紙飛行機を使った「飛ばし大会」が行われ、最後に、参加者全員に「鶴田の美味しいお米」が当たる「大ピンゴ大会」を開催。早くピンゴした子どもには、特賞の鶴の輝き(つがるロマン)十キロが贈られ、一人では持って帰れない子どももいました。また、たくさんのお米が子どもたちに当たり祭典は大盛況に終わりました。



⑥

⑦